2021MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第4戦 筑波大会

2021MFJカップJP250選手権シリーズ第3戦 筑波大会

２０２１年 ４月 １３日

公示

本競技会は一般財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会（ＭＦＪ）の公認のもとに国際スポーツ憲章・ＦＩＭ競技規則に基づいた2021ＭＦＪ国内競技規則ならびに本競技会特別規則に基づいて開催される。

特別規則

第１条　主 催

一般財団法人日本オートスポーツセンター(JASC)

〒304-0824　茨城県下妻市村岡乙159

TEL:0296-44-3146　FAX:0296-43-2952

www.tsukuba-circuit.jp

一般財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会(MFJ)

〒104-0041　東京都中央区築地3-11-6 築地スクエアビル10F

TEL:03-5565-0900　FAX:03-5565-0907

www.mfj.or.jp

第２条　公 認

国際モーターサイクリズム連盟(FIM)

第３条　会 場

筑波サーキット(2,070m)

〒304-0824　茨城県下妻市村岡乙159

TEL:0296-44-3146　FAX:0296-43-2952

第４条　後 援

スポーツ庁／観光庁／茨城県／つくば市／下妻市／常総市／坂東市八千代町

第５条　開催クラス・予選・決勝

１．開催クラス

ST1000／ST600／J-GP3／MFJｶｯﾌﾟJP250

２．予選方法

ST1000：計時予選およびレース形式とする。

ST600/J-GP3/ MFJｶｯﾌﾟJP250：計時予選方式とする。

３．決勝

ST1000	：20Laps(41.40km)
ST1000 Semi Final	：15Laps(31.05km) ※ 6/19（土）
ST600	：20Laps(41.40km)
J-GP3	：20Laps(41.40km)
MFJｶｯﾌﾟJP250	：12Laps(24.84Km)

※天候等の理由により､タイムスケジュールの変更及びレース周回数を変更する場合がある。

第６条　開催日

６月１８日(金)　ＡＲＴ走行

１９日(土)　公式予選・決　勝

(Race1：J-GP3、ST600、JP250 / Semi Final：ST1000)

２０日(日)　ウォーミングアップラン・決　勝

(Race2：J-GP3、ST600、JP250 / Race1・Race2：ST1000)

※その他の詳細なスケジュールは公式通知に記す。

第７条　大会役員・大会審査委員会・競技役員

公式プログラムに記す。

第８条　参加申込・期間

１．参加申込期間　５月１１日(火)～５月２０日（木）

２．参加申込先　〒304-0824　茨城県下妻市村岡乙159

一般財団法人日本オートスポーツセンター(JASC)

レース事務局宛

TEL:0296-44-3146　FAX:0296-43-1115(2F)

３．参加申込は、参加申込書に必要事項を完全に記載し、参加料を添えて申し込み締切日までに提出すること。ワンメイクタイヤ使用クラス（ST1000、ST600、MFJカップJP250）の参加者で、ＭＦＪが指定したタイヤを購入する者は、タイヤの購入手続きも合わせて行うこと。郵送の場合、現金書留もしくは下記口座への銀行振り込みとし締切日必着とする。

筑波銀行　千代川（チヨカワ）支店	普通 1037757
ザイ）ニホンオートスポーツセンター	

４．Ｊ－ＧＰ３クラスに、特別参加枠での参加を希望するライダーは、４月２１日（水）～４月２７日（火）の期間内に、ＭＦＪへプレエントリー申請を行うこと。

参加の合否については、ＭＦＪより連絡される。

5．ＭＦＪカップＪＰ２５０選手権第３戦のエントリー数の上限は、予選最多出走台数の３８台とする。

6．MY LAPS Japan㈱製 マイポンダーの使用が認められる。使用する場合は、ポンダーIDを添えて使用の旨を申告すること。

7．ワンメイクタイヤクラス(ST1000、ST600、MFJカップJP250)の参加者で、ＭＦＪが指定したワンメイクタイヤを購入する者は、必ず参加申込期間内にタイヤの購入手続きを行うこと。ＳＴ１０００及びＳＴ６００は３セット迄、ＭＦＪカップＪＰ２５０は、２セット迄購入することができる。

第９条　予選出走台数・決勝グリッド数

１．グリッド列ごとの台数配分は3-3-3-3…の階段式で、ポールポジションは最前列進行方向左側とする。

２．決勝グリッド数と予選最多出走台数

クラス	決 勝 グリッド	予選最多 出走台数
ST1000	21	25
ST600	30	36
J-GP3	36	43
MFJｶｯﾌﾟ JP250	36	38

※ST1000 SemiFinalのグリッド数は、ST1000決勝グリッド数と同様とする。

第10条－１　公式予選

１．公式予選は計時予選方式とし、義務周回数は定めない。

２．予選を２組で行なう場合の組分方法は、エントリー締め切り時点の当該年度ランキング順とする。

エントリー締め切り時点の当該年度ランキング順にA･B･A･B…と振り分け、次にランキング対象外のライダーを指定されたゼッケンの若い順に振り分ける。

３．複数の組に分かれて行われる予選の順位決定方法は、ＭＦＪ国内競技規則に準ずる。

４．予選通過基準タイムは、トップタイム上位３名の平均タイム１０８%以内とする。決勝２レース制の場合、レース１、レース２ともに、決勝レース１の予選通過基準タイムが適用される。

第10条－２　ＳＴ６００、Ｊ－ＧＰ３、ＪＰ２５０クラスのグリッド決定方法について

全日本選手権ＳＴ６００、Ｊ－ＧＰ３及びＭＦＪカップＪＰ２５０の、同一大会における計時予選１回に対して決勝２レース制のグリッド決定方法は以下とする。

決勝レース１：各ライダーのベストラップタイムにより決定

決勝レース２：各ライダーのセカンドラップタイムにより決定

第10条－３　ＳＴ１０００クラスのグリッド決定方法について

１．全日本選手権同一大会における計時予選およびセミファイナルレース結果に対する決勝２レース制のグリッドは、レース１、レース２とも同一グリッドとする。
但し、第１０条‐３　７項を適用の場合を除く。

２．決勝レース１・決勝レース２には、
計時予選結果　１位～１６位のライダーが進出できる。

３．計時予選結果１７位～３７位のライダーは、６月１９日（土）に行われる、セミファイナルレースに進出できる。

４．決勝レース１・決勝レース２、１７位～２１位のスターティンググリッドには、６月１９日（土）に行われる、セミファイナルレースの上位５台が進出できる。

５．ウェイティング資格は、セミファイナルレース６位以下のライダーで、決勝レース出場願い書（ウェイティング申請書）を提出した者の中での上位３名までとする。

６．何らかの理由により、セミファイナルレースが行われなかった場合は、計時予選の結果により、全てのグリッド（２１台）が決定される。

７．エントリー台数が、予選１組の最多出走台数（２５台）内の場合、当特別規則、第１０条－３　２．３．４．に記載された計時予選、セミファイナルレース方式は行わない。その場合の決勝グリッド２１台は、第１０条‐２を採用し決定される。

第11条－１　ＳＴ１０００クラス タイヤ規制

１．MFJ が指定したダンロップのワンメイクタイヤのみ使用することができる。指定タイヤはドライタイヤが２スペック登録され、ライダーおよびチームは当該レース開催時の状況で、スペックを選択できる。（予選、決勝で異なるスペックのタイヤを使用することも可能）ただし、ダンロップが登録したタイヤ以外のスペックのタイヤは使用できない。

２．タイヤマーキング（ペイントまたはシール添付）されたタイヤを使用しなければならない。なお、マーキングしたタイヤの変更は認められない。
ただし、ウエットタイヤは、タイヤマーキングの必要なく使用することができる。

３．ワンメイクタイヤの使用方法は、下記の通りとする。
土曜日（計時予選・セミファイナル）、日曜日（Ｒａｃｅ１・Ｒａｃｅ２）を通して、３セットとする。
※日曜日のウォームアップランを除く。

第11条－２　ＳＴ６００クラス タイヤ規制

１．MFJ が指定した、ブリヂストンのワンメイクタイヤのみ使用することができる。
予選中のタイヤ使用本数が設けられる。１セット（前後タイヤ各１本）のみ使用することが認められ、タイヤにマーキング（ペイントまたはシール貼付）されたタイヤを使用しなければならない。なお、マーキングしたタイヤの変更は認められない。
ただし、ウエットタイヤは、タイヤマーキングの必要なく使用することができる。ウォームアップラン及び決勝レース１・レース２のタイヤ使用本数制限は行わない。

第11条－３　ＭＦＪカップＪＰ２５０クラス タイヤ規制

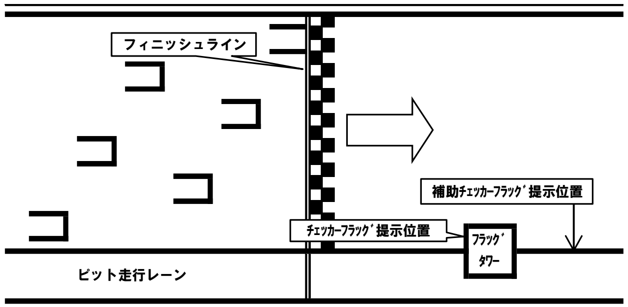
１．MFJ が指定した、ダンロップのワンメイクタイヤのみ使用することができる。
タイヤは、予選（ウォームアップラン）・決勝を通じて使用本数１セット（前後タイヤ各１本）が定められ、タイヤにマーキングされる。マーキングは車検時に行われ、マーキングしたタイヤの変更は認められない。但し、ウエットタイヤは、タイヤマーキングの必要なく使用することができる。

２．決勝レース２への進出者は、追加のタイヤ１セット（前後タイヤ各１本・１セット）の使用が認められる。２セット目のタイヤは、指定された時間に車検場にてタイヤマーキングを受けなければならない。

３．２セット目のタイヤは、６月２０日（日）のウォームアップラン及び決勝レース２に使用することができる。

第12条　競技の終了

正式なレースの終了は、チェッカーフラッグによりトップのライダーがゴールインした後２分間が経過した時とする。
フィニッシュラインならびにチェッカーフラッグ提示位置は以下のとおりとする。



第13条　車載カメラ

車載カメラを取り付ける場合は、主催者の許可を得ること。
但し、車載カメラを搭載できるのは、私的鑑賞目的に限られる。営利目的でカメラを搭載する場合は有料とし、主催者との協議を必要とする。また、競技の抗議資料としての利用は一切禁止される。

第14条　本特別規則の施行

本規則は、競技会の参加申込受付開始と同時に有効となる。尚、本規則に示されていない事項は、MFJ 国内競技規則に準ずる。

2021MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第4戦
2021MFJカップJP250選手権シリーズ第3戦
大会事務局長　渡邉 徳仁